

# 送るだけじゃ ダメなんだ

ホヤ、ニコンなどのレンズメーカーとフレーム卸業者など皆様のご協力で、老眼鏡は四百セット用意出来ました。この四百セットの老眼鏡の加工をたった二日で仕上げてくれた平川のスタッフの士気の高さにも感謝したい。

はじめに向ったのは宮城県東松島市役所。津波による災害がもつともひどかったエリアです。ここで避難所の情報などを得ます。現場はテレビで見ると凄惨でした。画面では伝わってこない嗅覚に訴えるものも強烈だったし、永遠と続く瓦礫の山はもはや街と云えるようなものではありませんでした。救援物資としての老眼鏡を、足りない



避難所へ仕分けしてもらったため、その一部を市の災害ボランティアセンターへ届ける。そのあと避難所となっている市立矢本第一中学校と市立大曲小学校へ向った。矢本第一中学校では、ボランティアのリーダーと市の職員の方に我々の主旨を説明したところ、体育館や教室に避難されている被災者の皆さんに校内アナウンスをしてください。こちらは市役所が近いこともあってすでに電気と水道は通っていた。廊下の床に約百五十本の老眼鏡を広げはじめたところ、スタッフの方が机を用意してくれたのでとても助かる。あつという間に三十名からの列になり私と常務で必死で対応した。一方、市立大曲小学校では水も電気も来ていないというまだまだひどい状態だったが、ここには自衛隊による移動入浴施設が設置されていて、少しではあるが厳しい状況にある被災者を癒していたようです。

二十一日の朝のニュースで福井県のメガネ組合から一万四千本の出来合い老眼鏡を被災地に送ったとしてテレビに出ていた偉そうなおっさんがいた。けど現場に老眼鏡なんて一本も届いていなかった。拠点で止まっているのだ。送るだけじゃダメなんだ。一部の報道では、老眼鏡は足りているということだったがとんでもない。2週間の間、新聞も読めずに困っていた人、津波から泳いで逃げたときに紛失した人、レンズが割れた人等々本当にたくさん困っている人がそこにいた。震災当初は我々もまだ危険も伴うだろうという会社としても判断もあり、秋田県の民文化政策課が救援物資を募っていたのでそこを介して老眼鏡を送ろうと思った。

しかし、すでに收拾がつかなくなった県は新品のタオルと新品の下着、防寒具のみを受け付けるといった対応に変わっていた。收拾がつかないので救援物資を限定するのはどうなんだ。困っているのは現場なのだ。先の福井のニュースの件もあり、それなら、自分たちで直接届けに行こうと。そして眼鏡のプロらしくせめてフィッティングをしてあげようと、そう決意し、はじめた今回の支援活動でしたが、本当に行ってよかったと思っています。受け取って頂いた眼鏡を握りしめ、涙して拝むように感謝してくれる人を見て自分は眼鏡屋として少しでも役に立てたと思えたし、何よりも、この震災による厳しい状況は、かつてないほど長く続くだろうという事を体で感じたことで、単発ではない息の長い支援をして行こうと心の底から思えたところが大きいと思う。この先も、本当に微力ではありますが可能な限り支援して行こうと思っています。最後になりますが、平川全社員の気持ちは、代表としてきちんと現場に届けた事を報告するとともに、今回協力頂いた全の方達に心から感謝したいと思います。



東松島市立大曲小学校の様子。一階はすべて浸水したので校内はすべて泥だらけ。ここにも救援物資の中に老眼鏡は一本も届いていませんでした。報道と現場とのギャップに驚かされます。



ご協賛頂いたメーカー  
HOYA株式会社ビジョンケアカンパニー  
株式会社ニコン・エシロール  
株式会社オプトカシマ  
株式会社トライアングル  
株式会社内田屋  
その他  
順不同

